

平成 29 年度第 2 回香川県独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構運営協議会
四国職業能力開発大学校部会開催概要

1 開催日時 平成 30 年 2 月 7 日（火） 14:00～16:00

2 開催場所 四国職業能力開発大学校 本館 3 階 視聴覚教室

3 議題

平成 29 年度 四国職業能力開発大学校 業務実績について

4 議事経過

資料に基づき事務局から説明の後、意見交換が行われた。主な意見は以下のとおり。

- (1) ものづくり系という新たな選考方法を導入したということだが、国立大学法人の工学部でも似たような制度をもつ大学もあり、賛否両論の意見がある。しかしながらよい試みだと思うので是非チャレンジして頂き、学生の生の声を聴いてそのデータを取り、議論して頂きたい。
- (2) ものづくり系に進学する学生は希望する科に進むことができるのか。また選考基準等は設けているのか。
- (3) ものづくり系で入校した学生は、他学生に比べ 2、3 か月間の遅れがあるようなカリキュラムに感じるがそうではないのか。
- (4) 在職者訓練の AI セミナーについて、AI に関する企業の関心はどこにあるのか。また、ハード面、ソフト面で課題があると思うがどのように進めていくのか。加えて、AI を題材とした学生の卒業研究等を取り組む構想はあるのか。
- (5) 就職状況について、未内定者が 2 名いるが、就職できるまで支援するのか。
- (6) 電気エネルギー制御科と電子情報技術科の応募倍率に差があるのは以前からの傾向であるが、出口に関してどちらかの科だけ企業ニーズが多い等といった差はあるのか。
- (7) 日本産業の屋台骨である電機分野等は産業界が必要としており、貴校が独自で取り組んでいる「理系のお仕事研究会」は有効であると思う。是非保護者の方にも数多く参加してもらおうよう取り組んでいただきたい。
- (8) 県下の普通科の生徒の進路に対する悩みが多く、職業に対するイメージの数が限られているという現状である。大学校での卒業生の活躍例や卒業生の就職先での活躍例を普通科の生徒へ向けて発信するような機会を設けて頂きたい。
- (9) 共同研究に関して、研究テーマを選定する基準はあるのか。また、共同研究に対する対価は大学校にあるのか。
- (10) 卒業生の定着率の調査は実施しているのか。また、就職先はほぼ大手企業なのか。